

新成人が生まれた1991年-1992年の出来事

世界では…  
ソビエト社会主義共和国連邦が崩壊 (91. 12. 25)  
アルベールビル冬季オリンピック開催 (92. 2. 8~2. 23)

日本では…  
大相撲の横綱・千代の富士関が現役引退 (91. 5. 14)  
長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流が発生 (91. 6. 3)  
S M A PがCDデビュー (91. 9. 9)  
秋篠宮文仁親王と同妃紀子の長女である眞子内親王誕生 (91. 10. 23)  
東海道新幹線「のぞみ」運行開始 (92. 3. 14)

牧之原市では…  
国営牧之原農業水利事業により、農業用水が牧之原台地に給水 (91. 5. 23)  
スズキ株式会社相良第一工場起工式 (91. 6. 11)



- 1 式典の様子
- 2 懐かしそうな表情で恩師の言葉を聞く新成人
- 3、4、5 久しぶりに会った友人と笑顔で記念撮影をする姿は成人式の風物詩
- 6 国歌を斉唱する新成人
- 7 恩師との再会に会話が弾む
- 8 数多くの中学生・高校生がボランティアとして参加した
- 9 人生の節目を祝うかのように晴天に恵まれた。自然と笑顔もこぼれる

# 平成24年 牧之原市成人式

## 561stories

1月8日、市内で561人の新成人が晴れの日を迎え、それぞれの夢に向かって大きな一歩を踏み出しました。  
問い合わせ 社会教育課 大関 ☎0532646



今後の目標や将来の夢を掲げる新成人

## 20歳の決意

新成人を代表して「誓いの言葉」を述べた2人を紹介します。



### 感謝の気持ちを持ち、社会に貢献したい

私は島田駅の窓口で働いています。仕事を通して、「あいさつをすることはとても大切なこと」とあらためて実感しました。お客様を出迎える際に笑顔で気持ちよくあいさつできるかで、駅員に対する第一印象が変わり、お客様がより快適に電車の旅を始められるか決まります。あいさつはとても簡単で基本的なことですが、とても重要なことです。20歳を迎えることができたのは、さまざまな人のおかげです。特に、両親には「20年間育ててくれてありがとう。この先、同じ大人としてこれまでお世話になった人たち、これから出会う人たちをしっかり支えていきたい」と感謝の言葉を伝えたいです。今後は、感謝の気持ちを持ち、社会に貢献していくことを誓います。

東海旅客鉄道株式会社勤務  
ふじさわかずなり  
藤澤一成さん/白井



### 市に貢献できることを誇りに感じ仕事に取り組みたい

商工会で、地域や事業者の皆さんの手助けをする仕事をしています。地域の人と接する機会が多く、お客さんに対する言葉遣いや接客態度、資料の説明の仕方など学ぶことはたくさんあります。その中でも地域のイベントに参加し、皆さんから感謝の言葉をもらったときはうれしい気持ちでいっぱいになりました。一人で仕事を任せられることも増え、仕事に対する責任感とやり遂げたときの達成感を日々感じています。仕事などにおいて、目の前の高い壁を乗り越えたときに自分自身がさらに成長することで、牧之原市に少しでも貢献できることを誇りに感じ、地域の人々が喜んでくれる姿を思いながら仕事に取り組んでいきたいと思っています。

牧之原市商工会勤務  
しみずらりこ  
清水櫻子さん/新庄

平成24年牧之原市成人式が、1月8日、榛原文化センターで開かれました。本年の新成人は、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた561人。このうち453人が式典に出席しました。午前8時30分を過ぎたころから、色鮮やかな振り袖や初々しいスーツ姿の新成人が次々に集合。久しぶりに会う旧友を見つけては歓喜の声を上げ、写真を撮るなど、会場には新成人の笑顔が溢れました。式典の前に、小中学校時代の写真がスライドとして上映されると、当時を懐かしく振り返るようで見えていました。第一部の式典は、保護者や来賓、恩師らが見守る中、厳粛な雰囲気の中で始まりまし

西原市長は「安心安全だけでなく、元気が出て活気あふれるまちづくりには、皆さんが積極的に意見を出し、自らの問題として取り組んでほしい」と新成人を激励し、お祝いの言葉を贈りました。来賓からも多くの祝福や励ましの言葉を受け、「誓いの言葉」では代表の2人が力強く、これまでの感謝と今後の抱負を語りました。

記念品贈呈では、新成人を代表して鈴木周太さんと鈴木萌未さんが市長からお茶と急須を受け取りました。このお茶は市認定農業者協議会が作ったもの。贈呈に先立ち、ボランティアの中学生が「牧之原のお茶は私たちの自慢。もっと多くの人に飲んでもらいたい」と新成人にメッセージを贈りました。

アトラクションが行われた第二部では、小学校・中学校時代の恩師10人が登壇。恩師らが、思い出話や励ましの言葉などお祝いの言葉を述べると、新成人は懐かしそうな表情を浮かべ、時折、笑みがこぼれました。その後、はいばら太鼓保存会による勇壮な演奏も披露され、新成人の晴れの門出にエールを送りました。成人式には、司会を務めた榛原高等学校の生徒をはじめ、受付や資料配布などに市内の中学生・高校生がボランティアとして多く参加。先輩たちを陰ながら支えてくれました。大人としての第一歩を踏み出した皆さん、今まで温かく見守ってくれた家族や友人への感謝の気持ちや、この日の決意を忘れずに夢に向かって、561人それぞれの人生を歩んでいってください。